

女性（性感染症検査）自己採取手順

※ 採取方法が悪いと検査ができないことがあります。必ずはじめにこの説明書をよくお読みください。

綿棒による自己採取法

専用の滅菌された綿棒で膈内から細胞を採取して頂きます。
この検査は、淋菌、クラミジア、トリコモナス、カンジダ、細菌性膈症、マイコプラズマ、ウレアプラズマを調べるもので、子宮頸がんやHPV感染を目的にしていません。

採取するときの注意事項



手をよく洗いましょう



採取前に入浴不可



採取前の性交不可



妊娠中は不可

※ 生理中の方は生理終了後、出血がなくなってから採取してください。
※ 採取前に膈内の洗浄をしてしまうと正しい結果が得られません。

自己採取の手順



1. 水色の保存液が入った容器に採取日、年齢、氏名を書いて下さい。
2. 容器のキャップを開け、倒れないようにしておきましょう。
3. 滅菌綿棒を取り出します。
綿の部分は手で触れないで、膈内に挿入します。
4. 膈内を軽くこするようにして細胞を採取します。
5. 膈内から綿棒を引く抜き、素早く水色の保存液に綿棒を浸して下さい。
6. 白いキャップを時計回りとは逆に回すと、カチッと溝に入りますので、それを確認してから時計回りにしっかり閉めて下さい。（液が漏れないようしっかり閉めて下さい。）
7. もとのジッパー付ビニール袋に入れ、余分な空気を抜いて下さい。
8. 「依頼書・報告書」に必要事項 記入して下さい。

ご不明な点は下記にお問合せください。

LABO 株式会社 アイ・ラボCytoSTD研究所

〒192-0154 東京都八王子市下恩方町560-6

TEL 0426-52-0750

Mail: info_std@ilabo-cyto-std.com

Web: <http://www.ilabo-cyto-std.com/>